



赤堀歴史民俗資料館では、企画展「密な古墳」と歌人澤浦盛衛パネル展を同時開催しています。古墳と歌人の異なる内容ですが、どちらも見ればきっと伊勢崎を知っていただけ、知ればもっと伊勢崎が面白くなるのではないのでしょうか。12月26日(日)まで開催していますので、ぜひお立ち寄りください。

1階ホールで開催中の企画展

密な古墳

— 群集墳のヒミツを探る —

展示の見どころ 前方後円墳一ノ関古墳



一ノ関古墳は、粕川沿いの本関町に所在する6世紀後半に築かれた全長約50mの前方後円墳です。粕川により前方部は失われていますが、史跡整備され市指定史跡となっています。100基を超えるとされる本関町古墳群の中では、5世紀末から6世紀前半まで直径10~20m程の円墳が主体を占めますが、6世紀後半になると粕川沿いに一ノ関古墳を初めとした上位クラスの前方向後円墳が出現します。展示では、映像で実際の一ノ関古墳の姿をご覧いただけます。



一ノ関古墳発掘当時の映像と出土資料の展示

12月26日(日)まで企画展とパネル展示を同時開催中

歌人 2階ホールで開催中
没後90年
澤浦盛衛パネル展

今から90年前、31歳の若さでこの世を去った三和町の歌人澤浦盛衛のパネル展示で紹介しています。故郷や家族を想い詠んだ代表的短歌とともに、短歌に合わせた地域の風景写真を展示しています。澤浦盛衛は、ほとんどその存在を知られていませんでしたが、今春地元有志により、歌人澤浦盛衛の存在が明らかとなりました。



澤浦盛衛



歌人澤浦盛衛パネル展示の様子

澤浦盛衛は、雑誌「アララギ」に多くの短歌を発表していました。澤浦盛衛が亡くなった2年後の昭和8年(1933)に、親友であった田中一三が大正13年(1924)~昭和2年(1927)に盛衛が雑誌「アララギ」に発表した中から短歌を抜粋し、澤浦盛衛の3回忌に父の源吾が親族や友人に「澤浦盛衛遺稿」を配布しています。澤浦盛衛の没後90年の節目となる今年春、「澤浦盛衛を語る会」により「澤浦盛衛遺稿」が復刻されました。

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

入館無料

休館日：月曜日(月曜日が祝日は翌日)・年末年始・臨時休館日 開館時間：午前9時~午後5時(入館は4時30分)
※年末年始は12月27日(月)~1月4日(月)まで休館です。

お問い合わせ 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030

FAX 0270-63-0087

新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。ご来館の際は最新情報をホームページでご確認ください。